

RADIO EQUIPMENT

Patent Number: JP57039629
 Publication date: 1982-03-04
 Inventor(s): NAKANISHI TETSUAKI; others: 01
 Applicant(s): MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD
 Requested Patent: ☐ JP57039629
 Application Number: JP19800115673 19800821
 Priority Number(s):
 IPC Classification: H04B1/16; H04L27/22
 EC Classification:
 Equivalents: JP1369725C, JP61037813B

Abstract

PURPOSE: To avoid the necessity of providing a system switching means at the panel side, by detecting the reception of a digital modulation signal and switching the reception output of a digital demodulating circuit and an FM demodulation circuit.

CONSTITUTION: A detection circuit 20 supplies a detection signal to a voltage comparison circuit 19. The voltage comparison circuit 19 outputs a signal switching signal by taking an output of a signal selection circuit 23 for a digital demodulation signal the absolute value of the detection signal is greater than the comparison voltage of a constant voltage generating circuit 18 as the reception of the digital modulation signal, and for an FM demodulation signal when smaller than the comparison voltage as the reception of the FM modulation signal. This demodulation signal output is amplified at an amplifying circuit 24 and applied to the output terminal of a demodulation signal 25 as the output for speakers and the like.

Data supplied from the esp@cenet database - 12

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭57—39629

⑬ Int. Cl.³
H 04 B 1/16
H 04 L 27/22

識別記号

庁内整理番号
6442—5K
7240—5K

⑭ 公開 昭和57年(1982)3月4日

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 3 頁)

⑮ 無線機

⑯ 特 願 昭55—115673

⑰ 出 願 昭55(1980)8月21日

⑱ 発 明 者 中西徹明

横浜市港北区綱島東四丁目3番
1号松下通信工業株式会社内

⑲ 発 明 者 佐々木実知夫

横浜市港北区綱島東四丁目3番
1号松下通信工業株式会社内

⑳ 出 願 人 松下電器産業株式会社

門真市大字門真1006番地

㉑ 代 理 人 弁理士 中尾敏男 外1名

明 細 書

1、発明の名称

無線機

2、特許請求の範囲

デジタル変復調方式とFM変復調方式に共用する無線機において、受信信号から検出されるビット同期信号の信号強度を或る設定された比較値と比較することによりデジタル変調信号が受信されていることを検出する検出手段と、上記検出手段の出力によりデジタル復調回路の受信出力とFM復調回路の受信出力を切替える手段を有することを特徴とする無線機。

3、発明の詳細な説明

本発明はデジタル変復調方式とFM変復調方式に共用する無線機に関するものでその切換を容易にすることを目的とする。

従来、デジタル変復調方式とFM変復調方式に共用する無線機においてはいずれかの変調信号が受信された場合でも2つの変復調回路が前面パネル等に設けられた選択スイッチ等によって、い

2ページ

ずれかの変復調回路のみ動作するような構成になっているため前面パネル等の選択スイッチ等による指定でたまたま適合した変調回路に設定されていた場合は適正な受信ができたが、他の変調回路に設定されていた場合は適正な受信ができないという欠点があった。

本発明はこれらの欠点を除去したもので、以下図面を用いてその一実施例を説明する。

受信信号入力端子1に供給された受信信号は受信増幅回路2により増幅および周波数変換され、波形成形回路3とFM検波回路21に送られる。FM検波回路21の出力は増幅回路22で適正なレベルに増幅され、信号選択回路23へFM復調信号として与えられる。波形成形回路3の出力は矩形波に成形されて位相比較回路4に供給される。位相比較回路4の出力信号は低減波回路5により、信号伝送速度に適した周波数帯域制限を行ない、増幅回路6により適切な信号強度に増幅する。増幅回路6の出力信号は電圧制御発振回路9へ自動位相制御ループの制御信号として、位相等化回

路 10へPSKの復調信号として、全波整流回路 14へビット同期信号としてそれぞれ供給される。電圧制御発振回路9は増幅回路6からの制御電圧により発振周波数が制御され、出力信号は増幅回路8により適切な信号強度に増幅され、波形整形回路7により矩形波に成形されて位相比較回路4に帰還する。4〜9よりなる回路をPSK変調された受信信号の得られる波形整形回路3の出力側に接続することにより増幅回路6の出力にPSKの復調信号が得られることは容易に理解することができるため説明は省略する。増幅回路6からのPSK復調信号は位相等化回路10により受信回路の位相歪みを補正し、増幅回路11にて適切な信号強度に増加されデータ復調回路12にてデジタルデータを復調し、D/A変換回路13にてアナログ信号に変換され、これを信号選択回路23へデジタル復調信号として供給する。また、全波整流回路14は増幅回路6からのPSK復調基底帯信号を全波整流することにより再基底帯信号に含まれるビット同期信号の2倍の周波数信号を発

生させ、狭帯域濾波回路16によりビット同期信号の2倍の周波数成分だけを増幅回路16に供給する。

増幅回路16の出力信号はビット同期信号発生回路17および検波回路20に供給されビット同期信号発生回路17では増幅回路16からの信号を波形成形、1/2分周することにより、ビット同期信号を発生しデータ復調回路およびD/A変換回路13に供給する。また、検波回路20はビット同期信号の2倍の周波数信号を検波し、この検波信号を電圧比較回路19に供給する。電圧比較回路19では定電圧発生回路18の比較電圧とこの検波信号の絶対値を比較し、信号選択回路23への信号切替信号を作る。すなわち、検波信号の絶対値が比較電圧より大きい時はデジタル変調信号が受信されているとして、デジタル復調信号を、また比較電圧より小さい時はFM変調信号が受信されているとして、FM復調信号を信号選択回路23の出力とするように、信号切替信号を出力する。復調信号出力は増幅回路24で増幅さ

れ、復調信号25の出力端子へスピーカ等への出力として送られる。

以上のように本発明においてはFM変復調方式とデジタル変復調方式に共用する無線機において、変調信号を受信した時の変復調回路の自動切替をおこなうようにしているためにパネル側にわざわざ方式切替手段を設ける必要がなく操作性が大幅に向上し工業的価値は大である。

4、図面の簡単な説明

図面は本発明の一実施例における無線機の回路構成を示すブロック図である。

4……位相比較回路、14……全波整流回路、
20……検波回路、19……電圧比較回路、23
……信号選択回路。

代理人の氏名 井理士 中 尾 敏 男 ほか1名

